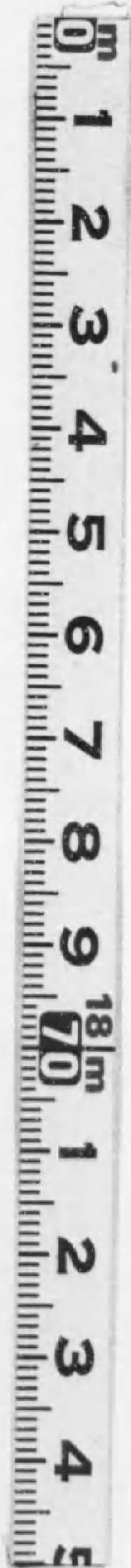
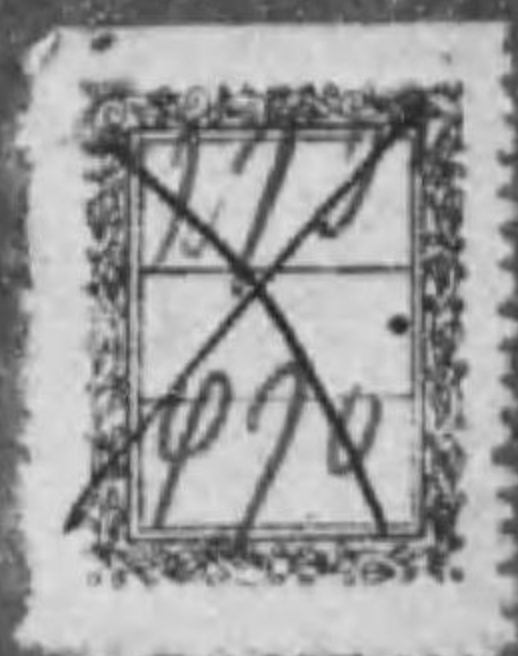


特116

682

難
波



始



将116
682

正月 前ツレ 王 仁
ワキ 臣 下
後ツレ 水華閣 耶姬

難波

脇能

備
考
打込
打放
観世流太鼓

(コイ合) の如く黒色活領は高安流太鼓
(カニ施) の如く赤色は大食流小鼓
の如く藍色活領は葛野流太鼓
の如く藍色は幸流小鼓
等の如く赤色活領及は

《出ノ囃子》

五段ノ次第

止ノ打切

(コイ合)	(コイ合)	(コイ合)
次第 (三人)	ワキ	上音
剛吟平衆		
な	や	や
み	ま	ま
か	も	も
ぜ	か	か
し	す	す
い	み	み
づ	て	て
か	ら	ら
な	ら	ら
り	の	の
い	は	は
け	は	は
エ	る	る
り	る	る

大正 9.9.18 内交

地取 (注意) 地取のあとワキの三遍返へし等總て高砂と同一なる故に畧す

詞 抑是れは當今につかへ奉る臣下なり。我れ

難波

三熊野を信じ。毎年としごもり仕り候。此

の度は所願成就し。年かへる春にも成り候

へば。唯今都に下向仕り候

道行 平乗 ヤ 上音 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

突にものどけきかざなぎの

突にものどけきかざなぎの

はまの真さごもふきあげの

ららぶーたひしでーゆくほどーに

はやくも紀路のせきこえて

これもみやこかア津のくにの

なに波のささとに著きにけりな

に波のささとに著きにけりな

に波のささとに著きにけりな

出ノ囃子 真ノ一聲

止ノコイ合

雑皮

一聲ツレ君上音が代コイ合の。ながらの橋もつくるなり。難波ニの

春もシカセ。幾カガ久ハハスハハ。白雪ツレにも梅シカセの冬カガごもりカガ。今

は春シカセべの。気色シカセかな。夫シカセれ天上音長アシライく地ツレ久カガ敷

いで。神代カガの風長閑ハダにつたはり。皇ミコのかしこ

き。代カガの道ミチひろく。國クニをめぐみ民タタをなでて。

四方ヨコに治シる八洲ヤマトの浪静ナミに照スす日ヒの本ノ。影カゲ

ゆたかなる時トキとかや（合及中書打切） 打切

(ヤトリ)

下歌 ヤ かつが野ノにト トリ

(ヤトリ)

わか菜ナ つみ つよらづ代ヨを（合及中書打切） 打切

(ヤトリ)

上歌 ヤ いはふなる。 トリ

(コイ合)

こあ（合及上書打切）ろぞしるきくもりなキき（合及上書打切） 打切

(コイ合)

こあ（合及上書打切）ろぞしるきくもりなキき（合及上書打切）

(コイ合)

あ（合及上書打切）ま津日ツつき（合及上書打切）の（合及上書打切）序（合及上書打切）つき（合及上書打切）もの（合及上書打切）。

(コイ合)

は（合及上書打切）こぶ（合及上書打切）ち（合及上書打切）また（合及上書打切）や（合及上書打切）み（合及上書打切）や（合及上書打切）こ（合及上書打切）路（合及上書打切）の（合及上書打切）す（合及上書打切）

難波

(カシ) ーウ ぐなるッ 序代をアトふかんーと

(打切) ーヲ 打切

(コイ念) せーきの戸ささでエト千さとまで。

(キクシ) あーまねくーてらす。日かげかアな

(アキ) あまーアねくーてらすー日かげかアな。

詞^{ワキ} めゆに是れなる老人に尋ねべきゆりの外

シテ 洪方のゆりにてゆか何ゆりにてゆぞ

ワキ 不思議やな借本こそ多き中に。是れなる

梅の本陰を立ちさらずして。陰を清め貴

脱し給ふゆ不審也。若し洪の梅は名本に

てゆか^{シテ} 洪安を見奉れば。都の人にては産い

が。洪の難波の浦において。色ことなる梅花

を求覽じて。名本との出尋ねは苦心なきや

うにこそゆ^{カル} まれ大^{上音} 家の春の花。本本

の盛は多けれ共。花の中にも始なれば。梅
 花を花の兄ともいへり。詞シテ其上梅の名所
 名所。國國所は多けれ共。六義の始のそく
 歌にも。難波の梅こそ採まれたれ

カルツレ代もひらけし業カ花といひ。詞シテあまねき花
 の佳例と云ひ。カルニ人上音アシラシにもかくにも津の國のこや
 都路の難波津に。名を得てフルラフアヨセルツデ咲くや此の花

を。名木かとの花ハ尋は。事あたらしき津チ津
 かな。詞ワキアシラシアシラシ難波の梅の事。名木やらんと
 尋ねしは。愚か成りける同事かな。然れば
 歌にも難波津に。咲くや木の花冬乾り。今
 は春べと咲くやこの。花の春冬かけてよめる。
 カル上音歌の心は如くなるぞ。詞シテそれこそ帝をそへ
 歌の心伺は顯れたれ。難波の花子は皇子な

がら。未だ位につき給はねば。冬咲梅の花の
 ごとしワキカル上音帝上音即位上音ありて難波の君の。位に備
 り残ひし時は 詞シテ今社時の花のごとく
ワキ天下上音の春をしるしめせば 今シテは春上音べと咲
 くや汝のワキ花上音の盛上音はをほさざきのシテ帝上音を
 花ハにそへ歌のワキ風上音も治上音り 立浪シテも

●小謡
 地上歌・な上音に波津上音に。トリ

(打出) さく や こ の を な ふ ゆ ご も り
 (打出) さく や こ の を な ふ ゆ ご も り
 (コイ) いま は は る 迎 に に ほ ひ 来 て エ
 (コスル) ー ー ふ け ど も う め の か ぜ
 (中) え だ を な ら さ ぬ 代 と か や
 (キクム) ー ア ー ー 突 に や 津 の く に の
 (フシヤ) な に 彼 の こ と に いた る ま で

雅皮

(サカテ)

ゆたかなる代のためしこそ

(フセド)

実(實)にみちひろきをさめなれ

(タニ)

エにみちひろきをさめなれ

半声

クリ地 柳難波津の歌は帝の序始。又浅香山の言

葉はうね女のかはらけ。取りどりなり

サシ・むかし唐必の老舞の序代にもこえつべし

獨今
サシクセ
後子は
切まで

地が機(同音)のまつりごとおだやかにして。慈悲の浪

四海に普くをさめざるにたいらか也 君

きみたれば。臣も亦。地水よく船をうかふ

とかや

たかき屋に。トリ

のぼりて見れば。けむりたつ。

たみのかまど。トリ

はア。にイ。ぎ。はひにけり

准皮

七

(カケ切) ぞ、
ハ、
え、い、慮、に、
か、け、ま、く、も、

(スニツ) か、
た、
じ、
け、
な、
く、
ぞ、
き、
こ、
急、
け、
エ、
る、

(カケ切) ヤ、
ハ、
い、
か、
れ、
ば、
こ、
の、
き、
み、
の、

(コイ合) 代、
代、
に、
た、
め、
し、
を、
ひ、
く、
こ、
と、
も、

(ツマヤ) 実、
に、
あ、
り、
が、
た、
き、
み、
こ、
と、
の、
り、
い、

(コイ合) |、
く、
に、
ぐ、
に、
あ、
ま、
ね、
く、

(フシ合) 三、
と、
せ、
の、
際、
つ、
き、
ゆ、
る、
さ、
れ、
い、

(キヤミ) そ、
の、
と、
し、
つ、
き、
も、
き、
は、
ま、
れ、
ば、

(三ツ) ン、
は、
ま、
ト、
リ、

(和) ア、
の、
真、
さ、
ご、
の、
か、
づ、
つ、
も、
り、

(トリ) て、
エ、
ゆ、
き、
ト、
リ、

(ツマヤ) |、
は、
ほ、
う、
ね、
え、
の、
際、
つ、
き、
も、
の、

(トリ) |、
イ、
は、
ほ、
う、
ね、
え、
の、
際、
つ、
き、
も、
の、

(和) |、
す、
ウ、
ゆ、
急、
に、
や、
な、
か、
な、
か、
い、

雀皮

へ

(ツエ)

や- まえ し- に- は- こ- ぶ- っ- た- から- の-

(当ル)

ン- せ- ん- し- り- ば- ん- ぜ- い- の-

(キク)

千- は- こ- の- た- ま- を- た- て- ま- つ- う-

(カケ)

ヤ- ハ- 上端 シテ い- っ- け- っ- け- トリ

(和)

エ- ば- あ- ま- ね- き- っ- こ- お- ろ- の-

(コイ)

地- い- つ- く- し- み- ふ- か- ら- し- て- エ

(トリ)

ハ- し- ま- トリ

(ツエ)

の- っ- は- か- ま- で- な- み- も- な- く-

(ツエ)

つ- く- 波- や- ま- の- っ- か- げ- よ- り- も-

(サカ)

し- げ- き- っ- か- げ- は- お- ほ- き- み- い- の-

(コエ)

く- に- な- れ- ば- つ- ち- も- 木- も-

(キス)

さ- か- え- さ- か- ゆ- る- っ- 津- の- く- に- い- の-

(トリ)

な- トリ

佳支

し

第一 第二 第三 第四 第五 第六 第七 第八 第九

(和) に波のうめのはなにはいふ。

(ツケ) にほひむかひにあまねくい

(キヤミ) つ花ひらくればてんみなり

(クモトノ) ン。はるなれやよろづ代の。

(及ニ) なほあんぜんぞ目出たきイ。打切

(打切) ロンギ地 突によろづ代のはるのはな。打切

突によろづ代のはるのはな。

(ツケ) さかえひさしきなには波濤の

(ツケ) むかしがたりぞおもしろき

(ヨイ合) シテ 突になには波濤に。

(ヨイ合) どりのひとこ急をりしむに。

(キク) なくうぐひすのはるのきく

(ツケ) しんあうでんをそうせん

(ツケ) 地 不思議やおん身たれれば。

准支

ト

(ラフリ) (ツツテ) (ツツテ) (和) (トリ) (ツツテ) (ハツツテ) (打込)

るのうぐひすのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ
ののさへづりこのまひのきなくよ

(又) (ツツテ) (ツツテ) (ツツテ) (ツツテ) (ツツテ)

いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす
いままぞあらんす

佳支

拍
二拍
三拍
四拍
五拍
六拍
七拍
八拍

半声 (フスル) もす 一 拍
 が 二 拍
 フクリ 三 拍
 なぐ 四 拍
 さめ 五 拍
 まら 六 拍
 すべ 七 拍
 へ 八 拍
 半声 (フセドシ) や 一 拍
 した 二 拍
 して 三 拍
 まち 四 拍
 たま 五 拍
 へ 六 拍
 半声 (フニラ) な 一 拍
 の 二 拍
 した 三 拍
 ぶ 四 拍
 し 五 拍
 に 六 拍
 ま 七 拍
 ち 八 拍
 た 九 拍
 ま 十 拍
 へ 十一 拍
 は 十二 拍

待謡上歌 ワキ 上音
 見 三拍
 て 二拍
 くら 三拍
 す 四拍
 トリ 五拍
 ふ 六拍
 くる 七拍
 夜 八拍
 の 九拍
 打切

狂言出て語りすみて犬小鼓はツバケをお出す
 ワキツレ立ちならびて打切

(打出シ) は 一 拍
 の 二 拍
 し 三 拍
 た 四 拍
 ぶ 五 拍
 し 六 拍
 ふ 七 拍
 くる 八 拍
 夜 九 拍
 の 十 拍
 (キウツヤ) 気 一 拍
 し 二 拍
 き 三 拍
 に 四 拍
 そ 五 拍
 み 六 拍
 て 七 拍
 お 八 拍
 ん 九 拍
 が 十 拍
 く 十一 拍
 の 十二 拍
 (和) は 一 拍
 な 二 拍
 に 三 拍
 き 四 拍
 こ 五 拍
 ゆ 六 拍
 る 七 拍
 不 八 拍
 思 九 拍
 儀 十 拍
 さ 十一 拍
 ー 十二 拍
 ー 十三 拍
 ー 十四 拍
 ー 十五 拍
 ー 十六 拍
 ー 十七 拍
 ー 十八 拍
 ー 十九 拍
 ー 二十 拍
 ー 二十一 拍
 ー 二十二 拍
 ー 二十三 拍
 ー 二十四 拍
 ー 二十五 拍
 ー 二十六 拍
 ー 二十七 拍
 ー 二十八 拍
 ー 二十九 拍
 ー 三十 拍
 ー 三十一 拍
 ー 三十二 拍
 ー 三十三 拍
 ー 三十四 拍
 ー 三十五 拍
 ー 三十六 拍
 ー 三十七 拍
 ー 三十八 拍
 ー 三十九 拍
 ー 四十 拍
 ー 四十一 拍
 ー 四十二 拍
 ー 四十三 拍
 ー 四十四 拍
 ー 四十五 拍
 ー 四十六 拍
 ー 四十七 拍
 ー 四十八 拍
 ー 四十九 拍
 ー 五十 拍
 ー 五十一 拍
 ー 五十二 拍
 ー 五十三 拍
 ー 五十四 拍
 ー 五十五 拍
 ー 五十六 拍
 ー 五十七 拍
 ー 五十八 拍
 ー 五十九 拍
 ー 六十 拍
 ー 六十一 拍
 ー 六十二 拍
 ー 六十三 拍
 ー 六十四 拍
 ー 六十五 拍
 ー 六十六 拍
 ー 六十七 拍
 ー 六十八 拍
 ー 六十九 拍
 ー 七十 拍
 ー 七十一 拍
 ー 七十二 拍
 ー 七十三 拍
 ー 七十四 拍
 ー 七十五 拍
 ー 七十六 拍
 ー 七十七 拍
 ー 七十八 拍
 ー 七十九 拍
 ー 八十 拍
 ー 八十一 拍
 ー 八十二 拍
 ー 八十三 拍
 ー 八十四 拍
 ー 八十五 拍
 ー 八十六 拍
 ー 八十七 拍
 ー 八十八 拍
 ー 八十九 拍
 ー 九十 拍
 ー 九十一 拍
 ー 九十二 拍
 ー 九十三 拍
 ー 九十四 拍
 ー 九十五 拍
 ー 九十六 拍
 ー 九十七 拍
 ー 九十八 拍
 ー 九十九 拍
 ー 百 拍

『出ノ囃子』

出端

止ノコイ合

後シテ (コイ合) コイ合
 上音 誰れ (コイ合) コイ合
 かい (コイ合) コイ合
 ひ (コイ合) コイ合
 し (コイ合) コイ合
 春 (コイ合) コイ合
 の (コイ合) コイ合
 色 (コイ合) コイ合
 は (コイ合) コイ合
 東 (コイ合) コイ合
 より (コイ合) コイ合
 来 (コイ合) コイ合
 る (コイ合) コイ合
 とい (コイ合) コイ合
 へ (コイ合) コイ合
 思 (コイ合) コイ合

南^地枝^{(シカケ)△スビ}花^ト初^{コト}めて^{コト}開^{コト}く。爰^{コト}は^{コト}所^{コト}も^{コト}西^{コト}の^{コト}海^{コト}に^{コト}向^{コト}

ふ^ス難^ス波^スの^ス春^スの^ス夜^スの^ス月^ス雪^スも^スす^スむ^ス浦^スの^ス波^スよ^ス

る^スの^ス舞^ス楽^スは^ス面^ス白^スや。夢^中は^{シカケ}し^ス覺^スじ。殆^{コト}ふ^{コト}な

よ^{コト}は^{コト}難^{コト}波^{コト}の^{コト}浦^{コト}に^{コト}年^{コト}を^{コト}へ^{コト}て。ひ^{コト}ら^{コト}く

る^ス代^ス代^スの^ス恵^スみ^スを^ス受^スる。木^スの^ス花^ス咲^スや^ス娘^スの^ス神^ス靈^ス

なり^{コト}は^{コト}亦^{コト}百^{コト}濟^{コト}必^{コト}より^{コト}社^{コト}の^{コト}國^{コト}に^{コト}後^{コト}

り。君^スを^スあ^スが^スめ^ス國^スを^ス守^スる。玉^ス仁^スと^スい^スつ^スし。相^ス

人^ニなり^ラ

(三)地	(初)段	(ウ)テ	(打)切	(シ)カケ	(二)地	(コ)イ合
ヲ	イ	イ	ハ	ノ	ハ	イ
ヤア	ヤア	ヤア	ヤア	ヤア	ヤア	ヤア
え	を	を	か	の	は	に
い	さ	ま	げ	の	代	と
花	る	る	を	の	の	く
を	る	る	を	の	の	の
な	代	代	が	か	か	の
し	の	の	み	み	み	に

佳皮

ト

(シカケステ)

ち
の
な
の
に
は
ひ

(ツケ)

こ
の
な
の
に
は
ひ

(カケ)

は
の
み
ど
り

(打切)

の
な
の
の
の
の
の

(三拍)

あ
そ
び
い
た
む

(打切)

か
の
り
な
ら
ぬ

(三拍)

い
ろ
の
舞
が
く

(打切)

れ
い
ろ
の
舞
が
く

(打込)

お
も
し
い
ろ
や

天女之舞

梅が枝に來居る鶯。春かけて

なけ共雪はふるき鼓の音むして

(カケ)

ち
な
ら
す

(地)

ち
な
ら
す

(ツケ)

ひ
い
と
も
な
け
れ

佳皮

上

(打込) (打込) (二段) (カケ) (三段目) (打切) (打切) (シカケ) (ツケ)

ヲ	シ	モ	ゼ	急
ナ	カ	ヨ	地	地
ハ	ニ	ヲ	い	い
ノ	波	ら	れ	江
カ	の	こ	を	の
ナ	と	出	葉	ま
代	り	け	あ	つ
な	も	む	の	か

Notes: (打切) 進ム, (ツケ) ノル地, (ヤア) ムスビヲドリニカソフ, (カケ) 教カソフ, (シカケ) 地, (ツケ) 地, (打切) 下音, (打切) 中切, (打切) 半割

佳皮

ト

(ウケ) (ウケ) (打切) (打切) (シカケ) (ツケ) (ウケ) (ウケ) (打切)

の	の	も	ば
地	地	地	地
ナ	ら	か	き
ハ	ウ	ア	ハ
の	は	も	は
の	ら	ひ	な
こ	し	び	に
急	は	き	波
ご	は	き	り
			み
			に

Notes: (ウケ) 打切, (ウケ) 打切, (シカケ) 打切, (ツケ) 打切, (ウケ) 打切, (ウケ) 打切, (打切) 打切, (打切) 打切, (ウケ) 打切

葉洲

十四

(地火) (五ツカケ) (コイ合) (コイ合) (ツツケ) (三コイ合) (和コ) (コイ合)

地	地	シテ	地	地	な	
い	抜	な	せ	ば	な	
り	と	み	い	ん	み	シテ
日	ら	た	が	せ	を	あ
を	の	て	い	い	ひ	き
ま	ま	ら	波	ら	び	の
ね	く	は	と	く	か	か
き	は	は	は	は	し	せ
か	か	い	あ	よ	ど	も
へ	へ	ら	を	ろ	ら	ろ
す	り	ら	ら	づ	と	と
手	ら	ら	み	ら	ら	も
に	つ	ら	の	つ	つ	に

准支

ト

(ツツケ) (和コ) (トリ) (ツツケ) (三地) (仕舞) (打込)

地	を	し	と	あ	
し	を	し	と	あ	
ら	な	ん	き	ら	り
ふ	を	あ	の	か	り
ら	ち	ら	て	も	が
く	ら	か	ら	し	た
は	い	ぜ	子	ら	や
は	て	と	の	の	神
い	ど	も	が	か	舞
か	ら	ろ	く	た	
に	と	と	を	ど	
や	ら	も	ば	り	
	つ	に		て	

仕舞 ロンギ地
平乗

以下拍子に合はず

神舞

止ノ打込謹及打切

(打上置)

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

(合及)	(打込)	(三賢)	
餘	半声	半声	半声
ア	ア	エ	エ
ん	ん	ん	ん
せ	せ	下	下
い	い	を	を
ら	ら	ま	ま
く	く	も	も
ぞ	ぞ	り	り
目	目	を	を
出	出	さ	さ
た	た	む	む
き	き	る	る
イ	ば	る	る
		ば	ば

(打カ)	(ハ)	(打込)	(トル)	(打カ)	(ハ)	(打カ)	(ヨ)
大ニ	大ニ	大ニ	大ニ	大ニ	大ニ	大ニ	大ニ
て	せ	の	ち	よ	い	い	
ん	い	の	イ	り	ま	り	
下	じ	お	カ	て	の	日	
を	ん	ん	コ	は	た	を	
ま	代	が	フ	ら	い	ま	
も	に	に	ト	ち	鼓	ね	
り	に	に	リ	か	は	き	
を	ま	ひ		へ	な	か	
さ	た	か		り	み	へ	
む	い	れ		て	な	す	
る	で	つ		は	な	手	
て		つ		ら	れ	に	
					ば		

觀世流謠曲難易等級一覽

關 寺 小 町	鷗 小 町	檜 恒 垣	姨 捨 寺	道 成 婆 重	卒 都 重	戀 重 荷	石 橋	木 賊	鷺 月	望 月	碓 月	重 習	梅 歌	神 習	別 習	木 會 願 書	起 請 願 文	勸 進 帳	三 讀 物	高 等 之 部
三 井 寺	江 口	朝 長	白 鬢	高 砂	一 級	絃 上	弱 師	七 務	三 番 習	定 家	當 麻	大 幸	隅 川	遊 柳	景 清	藤 戶	俊 寬	鉢 木	九 番 習	
繪 馬	蟻 通	咸 宮	老 松	兩 月	安 宅	山 姥	二 靜	仲 光	松 蟲	雲 院	葵 上	花 筐	夕 額	野 宮	芭 蕉	杜 若	松 風	誓 寺	一 級	
井 筒	江 島	賴 政	二 級	盛 久	歌 占	高 狂	昭 君	攝 待	須 氏	西 櫻	佛 原	源 養	熊 野	采 女	養 老	通 盛	實 盛	阿 漕	一 級	
自 然 居	東 岸 居	放 生	大 生	鶴 生	千 小	襄 小	通 志	三 梅	道 明	放 下	蟬 耶	女 樂	柏 崎	白 天	斑 女	淡 路	二 級			
忠 度	芦 刈	清 經	玉 井	國 栖	和 刈	海 士	難 波	水 室	三 輪	三 級	室 君	土 車	善 鳥	楠 露	笛 卷	身 延	春 日 龍 神	郡 耶	二 級	

謠曲重寶



大正九年九月十五日印刷
大正九年九月二十日發行

著作者 東京府下豊多摩郡淀橋町柏木百四十三番地 田崎延次郎

發行所 京都市上京區二条通麩屋町角 檜常之助

印刷所 京都市神田區錦町壹丁目拾番地 檜大瓜堂書店

東京市神田區錦町壹丁目拾番地 檜大瓜堂書店

東京市麹町區隼町貳拾壹番地 小林印刷株式會社

振替口座東京三五五二番

京都電話上二一九〇番

振替口座大阪三六一八番



謠曲重寶

●謠曲の難位等級を定むるは元來至難の事なれども從來諸家の定めたるものに就きて其概略を示し初學者の參考に供す

兼卷九龍葛一是安水籠草藍錦富浮吳玉住	三級
世 角 仙 人 界 原 祓 鼓 町 川 木 鼓 船 服 葛 詣	三級
平胡戸田城	三級
融天	三級
花百楊鐵鞍鳥松雲正櫻船半碗唐八	三級
貴 馬 追 山 雀	三級
鼓月萬妃輪狗船鏡山尊川橋都潜船島	三級
東代嵐雷谷龍小鶴春藤吉東知逆巴弓賀	四級
方 野 八	四級
朔主山電行虎鹽飼榮靜北章矛幡茂	四級
第四 五 皇 現 大 野 殺 船 網 錦 小 鱸 胡 羽 項 敬	四級
六 王 在 江 生 辨 (羅生門) 戶 督 道 蝶 衣 羽 盛	四級
天 母 帝 面 山 守 石 慶	四級
土右熊夜大六經岩鷓小輪枕大 大 吉 龍 飛	五級
蜘蛛 討 佛 會 供 浦 政 船 龜 我 藏 童 々 會 人 雲	五級
蛛 近 坂 我 養 浦 政 船 龜 我 藏 童 々 會 人 雲	五級
猩 竹 紅 鳥 禪 俊 忠 合 舍 車 張 橋 生 金 菊 小	五級
生 葉 朝 師 成 忠 信 甫 利 僧 良 慶 盛 札 童 治	五級
々 鳩 狩 折 我 度 信 甫 利 僧 良 慶 盛 札 童 治	五級

終

